

平成24年度事務事業評価結果 【平成22年度新規事業「現状通り継続」以外】

No.	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H23決算額 (千円)	H23 最終評価結果	H23事務事業評価での 指摘事項	H23指摘事項への 対応	実施済み場合は、その対応内容 (実施予定無しの場合は、その理由)	H24指示事項
1	福祉保健部	障がい福祉課	障害者福祉施設 整備費補助金	障害福祉サービス事業 所については、合計定員 30人(就労継続支援A型 (10人)と就労継続支援B 型(20人)を創設予定。 スプリングラ設備の 設置義務および設置義務 が見込まれる5か所の施 設へ設置補助を行う。	180,817	執行方法の見直し	次期障がい福祉計 画の策定及び予算要 求にあたっては、事 業のニーズと必要な サービス量の見込に ついて明確にすること。	実施済み	平成24年3月に第3期秋田市障がい福祉計画を策定し、事業のニーズと必要なサービス量の見込みについて掲載した。 なお、施設整備については、社会福祉施設整備方針に基づき、計画的な整備を進めることとしている。	—
2	福祉保健部	障がい福祉課	難聴児補聴器 購入費助成事業	市内に居住する18歳未満の児童で、両耳の聴力レベルが原則として30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の交付対象とならないもので、補聴器の装用により、言語の習得等一定の効果が期待できると医師が判断するもの。	295	執行方法の見直し	制度の利用者が少ないことから、利用促進のため、周知方法を再検討すること。	実施済み	市のホームページおよび障害者のためのくらしのしおりに制度を掲載するとともに、難聴児に関わる障がい者団体や専門医等へも周知した。 また、対象者が多いと思われる事業者等の保護者会等に職員が出向き、直接説明をし利用を呼びかけた。	—
3	保健所	健康管理課	子宮頸がん等 ワクチン接種事業	任意接種である子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種について、国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業に基づき、平成25年3月31日まで接種費用を全額公費負担としている。	445,281	休・廃止	国・県の助成が23年度で終了し、今後の動向が不明な状況にあつては、休・廃止を原則とする。ただし24年度以降も国・県が補助を行うことが明らかになった際は、新たな制度に合わせて予算要求を可とする。	実施予定無し	国・県の助成が24年度まで延長されたため、24年度も継続することになった。 なお、国では、これらの3ワクチンを任意予防接種から定期予防接種に変更することを検討しており、定期予防接種に変更となった場合は国県補助金が見込めなくなるため本市の負担が非常に増大することが懸念される。	—
4	子ども未来部	子ども未来センター	養育支援訪問事業	育児に関して不安や孤立感を抱えたり、食事等の生活環境が不適切な養育状態にあるなど、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、支援者がその居宅を訪問し、養育に関する具体的な指導・助言等を行うことにより児童虐待の未然防止を図る。	1,571	執行方法の見直し	24年度に向けた具体的な見直し内容を示すこと	実施済み	養育支援員との連携強化（事前情報の共有徹底）および支援内容や支援決定会議の見直し（実施機関間の協議充実）	—